(大正八年三月七日第三種郵便物認可)　昭和二十年十二月十四日　THE IWAKIJIHO　水曜日　第四千百八十六號　(一)

十三日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘盛
印刷人　石城郡平町紺屋町十四
印刷所　磐城時報社
發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
(日刊(一週、祭日)休刊)

娼妓の待遇改善に
平署長の腹案
營業者を集めて協議

平警察署管内平、湯本の兩遊廓れ等は娼妓を解放に導く上からは前署長樫村氏當時娼妓の待遇見て當然改善し、年限が切れゝ改善の意味から公休日の制定、ば借金を別にして廢業させるべ時間制度等を行つたが實行するきものであるとの意嚮を持つて營業者が比較的少なく、猪狩署長は着任後種々調査をなした結業者にとつても一大打擊である果當然改善を要する点があり殊結果一先づ營業者と協議した上に娼妓が前借で抱へられる際年實行に移る事になり十三日午後限をきめてあるに拘らず其の年一時から同署樓上に平鎌田、湯限が切れても借金がある事を理本遊廓の營業者全部を召集して由に働かせてゐる事がある、之協議をなした。

集會所を新築する
救世軍平小隊
十年間の發展ぶり

救世軍平小隊開設當時數名の兵士ありしのみ數ふるべき信者もなかつたが漸く十年の星霜を經てあらゆる迫害を排しよゝ努力した結果輓近著しき發展を示して五十餘名の兵士及百數十名の信者を指揮するに至つたので各種の集合には現在の集會所にては狹隘を感じ事業遂行上の不便尠からざる有樣なので小隊長日下少校が此程中校になつた記念事業として建坪百坪位の集會所を新築せんと計畫中であるが現在にては餘りに財界も疲弊し擴張事業の計畫時代でないから躊躇してゐるが財界の好轉するを待ち是非實現せしめんと小隊長以下何れも專心之れに努めてゐる。

上遠野村で
櫛田氏祝賀會
産馬組合主催

石城郡産馬畜産組合主催で上遠野區後援にて櫛田彦之進氏の成功祝賀會を十七日午前十時から上遠野小學校に開催し併せて記念品等も贈呈する事となり準備中であるが植田町でも福島から同氏の歸村を待つて十五日盛大なる歡迎祝賀會を催す事となつた。

湯本町消防
火消督勵

湯本町消防組を優良消防組にするため今回組織を替へ面目を一新したが、昨年末からは同所役場火災を記念として徹底的に火防を督勵する事となり火防のビラを同町各戸に配布した、尙ほ十五日から來春三月十五日迄毎夜組員が出て夜警をなすと。

東京で仕込まれた
スリの怪少年
藤原で腕を現はし捕はる

磐崎村大字藤原三井炭礦劇場に於て十一日夜活動寫眞見物中の同炭礦役員合宿所柚木貞雄、荒川喜代治外數名の懷中物が掏し合はした樣に紛失してゐるので同村駐在所に届け出た、一時に數名の者の懷中物が紛失した事に不審を抱き取調べた處掏摸犯入の所爲らしい点があり嚴探した結果十二日午後一時四十分頃炭礦内を徘徊してゐる少年を擧動不審として取押へ取調べた結果此の少年の所爲と判明した。同人は湯本町字裏町忠太郎二男吉川正吉(一六假名)と云ひ二年前に東京に行き働き口を探してゐた際淺草區千束町鈴木某(二七)に救はれたが此の鈴木が淺草切つての掏摸の親分であつた爲め正吉は全くスリに仕込まれ歸鄕後も劇場等に出入してスリを働いてゐたもので、此の怪少年の犯行の巧妙さ係官も驚いゐる程であつた。

貧しい人々に
もち米を寄附

平警察署内人事相談所では例年管内の貧しい人々にもち米を給與してゐるが、平町一丁目米穀商菅本庄治、同町字田町菓子商金子角造兩氏はこの程もち米一俵づゝの寄附を申出でた。

二振りの短刀を
所持する坑夫
強盜未遂犯人として
十二日夜平署に檢擧

十二日午後十二時頃湯本町地内を徘徊中の坑夫体の男の擧動が不審なので平署員が發見取押へ本署に引致取調べた處同人は双葉郡久之濱町字中町生れ當時湯本町入山炭礦坑夫前科一犯河合幸太郎(二五)と云ひ短刀二本を所持してゐる處から嚴重取調べた處同人は强盜を働く考へから平町某金物店から短刀を買ひ求め湯本町を徘徊してゐた處を捕つたもので强盜未遂として伊藤司法係長で嚴重取調べをなしてゐる。

▲赤井稻品評會　石城郡赤井村農會主催の水稻品評會授與式は十四日午後一時から同町第二小學校に於て擧行されるの筈であるが、尙ほ當日村當局では自治功勞者の表彰式を擧行する筈であると。

▲江名町消防夜警　江名町消防組では例年の如く漸く火災の多い季節になつたので去る五日から組員が相互に出動して夜警を開始した。

▲無免許で狩獵　石城郡上小川村大字上小川佐藤由春(二二)は去る五日から二回に亘り無免許にて村田銃を使用し永戸村下長井土中澤國有林にてバンと山鳥を狩獵した事發覺狩獵法違反として平署で取調中。

爆藥雷管を盜んだ
少年の素情
水戸署への申立て

昨紙掲載―石城郡川部村大字小川田子直長(二四)の無煙火藥雷管等を窃取した高根澤庄三郎(一二)は水戸署の取調に斯う申立てた。

庄三郎は數年前流行性感冒の爲の兩親を一緒に失つたので叔父の鹿島郡沼前村大字海老澤の高安粂吉に世話になつた、併しもう奉公位は出來るだらうと最初東京にやられたが堪へられず逃げかへり次には市内柵町川崎酒店其他二三の奉公先を歩いたが何れも永續きがせず最近は市外

歲末情景
月給取の卷
ボーナスの波は
どんな波紋を畫くやら

◆…巷から吹く風が、身にしみて、涙で笑ふ、歲末が近づいた、平町の各商店ではクリスマスや年末年始の贈答品でウキンドウが飾られ、歲暮大賣出しの赤旗も眼に付き、歲末らしい氣分を濃厚に見せてゐるが、サテ俸給生活者が待ち焦れてゐるボーナスの波は果して何の位の波紋を畫いて押し寄せる事やら?それが今あまりに數の多いサラリーマンの話題の中心!!

◆…照り降りのない、即ち經濟界の動搖や世の中の不景氣に大した影響も受けない官廳では、稅務署の三割が筆頭に、鐵道の判任官が二十割から十五割、雇が十五割から十割、傭人が十三割から八割見當である。學校、郵便局、裁判所其の他各官廳は大体の處前年に比べ十五割乃至十割位の豫想である。

◆…財界好況時代には炭礦の役員は各方面から羨望される程莫大なボーナスを貰つてゐたものだが、今年は各炭礦は營業不振で、他から羨まれる程の賞與を出す可能性がなく普通銀行會社と同じ程度だらうと言はれてゐる、マア十五割から八割位の處。

◆…とらぬ狸の皮算用、いくら貰つて、いくら支拂つてと殘りの處分案まで造つて待つてゐるが、若しや豫想よりも少ないのではあるまいかと心配してゐる心持ちを隠すにしなく、ストーブを圍んでは涙をまぎらす泣き笑ひを續けてゐるサラリーマンのあまりに多き事よ……歲末は遠慮なく押し詰つて來た!!

驚いた
こうまで安いとは
―加納活版所の印刷物!!

長岡村小鶴の水戸里屋といふ菓子屋に弟子に入つてゐたが八日此處も逃げ出しあとの活動常設泉館の空家に二晩眠りブラリと水戸驛待合室に行つた處が風呂敷包みがある、主家を出てから一度も食をとらないので空腹がそゝのかして金か食物があるだらうと盜んだものだ、それとは知らぬ水戸署では何せ被害品が物騒なものなので或は手硬い如かそれと知つて盜んだかと嚴重に手配した結果逐捕されたものだ。

簡易の融金　趣味の貯蓄
誠意と堅實　共存共榮

大藏大臣許可　磐城無盡商會
本社植田町・支社平町中町
【電話一番・平七九六七番】

縣内到る處に取扱所あり何時でも
申込下さい絶えず會員を募ります

外科
入院隨意
專
上田外科醫院
南町電二二九

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町
電話一七〇番

內科、外科、婦人科
小兒科、花柳病科
磐城病院
平町田町本通り
入院隨時　電話一一四番

內科・外科・耳鼻
咽喉科・花柳病科
高久病院
院長高久忠
平町電話一三五

醬油と味噌
東京支店
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部專用一〇番　一般用二二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
電話下谷五七一三番
振替東京六八三一二番

金牌受領
優秀品の証明
印半天專門
草野染工場
磐城平町
電話三四八番

◎徒弟入用（徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候）

病院組織
內科、小兒科　院長醫學博士難波部桂太郎
外科、皮膚泌尿科　內科部長波部桂太郎
產婦人科　外科部長木村淳
產婦人科部長野秋善直
衛生試驗部（理化學的檢査）　主任醫學博士難波陸
技師波部桂太郎
藥局　藥劑師吉本孝平
病院主事賀澤忠治
共濟會員診察無料
往診は何時にても致します
平電話六四一番町
磐城共濟病院
◎入院料
共濟會員一日金貳圓參拾錢也賄付
一般患者一日金貳圓八拾錢也賄付
◎看護婦募集す

お待ち兼ねの
特製生菓子　本日より發賣
御祝儀折詰物　特大勉強に
特製パン
日曜日に限り一割引
是非御來店の程お願いたします
永野キャンデーストアー
平町二丁目（電話七五五番）

美味にして、強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
スポン酒
定價壹圓・貳圓・德用五圓
代理店
平町五丁目角
山野邊藥局

二葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

靴とかばん
◎御注文は特に勉強
◎既成品も豊富にあります
平町搔揶小路（役場前）
福山靴店

牛豚肉大投賣
並肉　百匁　金三十錢
上肉　同　金五十錢
ロース　同　金七十錢
ヒレ　同　金九十錢
豚並肉　百匁　金三十錢
ロース　同　金六十錢
平町停車場前（平劇場入口）
深谷牛肉店
電話五二四番

カキ貝
料理の王
料理の王
電話一六七番

常磐第一ノ大炭礦ナル　磐城炭礦ノ炭礦
石炭とコークスの特長
一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速
ドーシテ、アンナ良イ品ヲ、ソンナニ安ク賣ンルカ驚カレ、一度使ヘバ永久ニ御使ヒ下サルノガ當店石炭ト「コークス」ノ特長デス。
値段正十貫目一俵金六十五錢也
平驛前
電話二三七番
阿部石炭商店

平・田町
電話七〇二番
大塚支店製靴部